

会員の皆様におかれましては、
平素から当連盟活動にご理解ご協力を賜り、
誠にありがとうございます。

ご承知の通り、先日、国政に動きがありました。
当連盟活動を行なう上で、非常に重要な動向となります。
本号は、当連盟内外の動向に関する情報提供です。

本号のトピックス

☆ 学集会の開催報告 (岡山県作業療法士連盟主催企画)

令和6年
1月25日開催

『 第10回 学集会 』
～ 作業療法士の職域拡大に向けた新たな挑戦 ～

令和6年
6月27日開催

『 第11回 学集会 』
～ 協会との連携強化のなかで、
その必要性と役割を考える ～

☆ 県連盟総会の開催報告 および 今後に向けてメッセージ

令和6年
6月27日開催

『 岡山県作業療法士連盟総会 』 開催報告

令和6年
8月発信

『 令和6年度 今後に向けてメッセージ 』

第10回 学集会

令和6年
1月25日開催

～ 作業療法士の職域拡大に向けた新たな挑戦 ～

岡山県作業療法士連盟 第10回学集会

職域拡大に向けた新たな挑戦！
この分野で活躍している作業療法士を知っていますか
～司法領域の作業療法～

日時 令和6年**1月25日**(木) 19:00-20:30
オンライン開催 (Zoom) (18:45より入室開始)

対象 **作業療法士**

参加費 岡山県作業療法士連盟会員：**無料**
(非会員：2000円)

※県連盟の入会初年度は年会費(2,000円)が無料となります。入会を希望される方は下記問い合わせ先にご連絡ください。入会確認後、研修会の参加費は無料になります。

講演



講師：宮口 英樹 氏

広島大学大学院医系科学研究科
総合健康科学専攻 作業行動探索科学分野 教授

内容

2005年に心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律(医療観察法)が施行されて以来、司法精神医療も作業療法の領域となり、近年は刑務所等の矯正施設においても作業療法の実践が評価され、作業療法士による生活訓練や創作活動・運動療法等の社会復帰プログラムが取り組まれています。そこで

- ①司法領域における作業療法士の関わりと役割
 - ②司法領域における作業療法士の展望
- の2点を中心に講演いただきます。



申し込み方法

お申し込みはこちらから→
下記URLからも申し込み可能
(<https://forms.gle/6gkQr9skXXV7NYca6>)
※切：**1月21日(日)**

主催：岡山県作業療法士連盟

問い合わせ先

岡山県作業療法士連盟 企画部 担当：西悠太(倉敷平成病院)
E-mail: okaot.renmei.kikakubu@gmail.com

テーマ ～ 司法領域の作業療法 ～

- ① 司法領域における作業療法士の関わりと役割
- ② 司法領域における作業療法士の展望

講師 宮口 英樹 氏

広島大学大学院医系科学研究科
総合健康科学専攻 作業行動探索科学分野 教授

～ 参加者・企画者からの感想です ～

<内容>

- ★職業の処遇の流れや法務省の機関についての説明
- ★医療観察法に関わること、対象者や処遇についてなど
- ★医療観察法に関する作業療法士の関わり、
刑務所内の障害者について
- ★司法領域で実際に行われている作業療法や
今後の展開についてなど

<感想>

これまで自身が司法領域について触れる機会がなかったため、多種多様に分かれている刑務所の機能についてなかなか理解が追いつかなかった。しかし、司法領域でも幅広く作業療法士が必要とされていることが分かった。

また、実際にどのようなことが行われているのかも対象別に解説していただき少しイメージすることが出来た。

私自身も就労現場で発達障害や精神障害の対象者と関わっているこの分野での宮口先生の取り組みも参考にさせていただきたいと思う。

司法の領域に作業療法士が関わっているという事を聞く事はあったが、想像よりも多くの作業療法士が関わっていることが分かった。

第11回 学集会

令和6年
6月27日開催

テーマ 「 つながり ～新たな一歩に向けて～」

「 地方連盟に期待すること 」

～ 協会との連携強化のなかで、その必要性と役割を考える ～

講師 山本 伸一 氏 日本作業療法士協会 会長



(講演スライド資料)



岡山県作業療法士連盟総会 & 第11回学集会

2024年

6月27日 木 19:00-21:00

場所：くらしき健康福祉プラザ 5階プラザホール
(倉敷市笹沖180番地)

第一部 19:00～19:20 (18:30から受付開始)
「岡山県作業療法士連盟 総会」

第二部 19:30～21:00
「地方連盟に期待すること」
～協会との連携強化のなかで、
その必要性と役割を考える～
講師：山本 伸一 氏 (日本作業療法士協会 会長)



※申し込み方法

お申し込みはこちらから→
下記URLからも申し込み可能
(<https://forms.gle/iwSiFnMnrBNjvt8S7>)
※切：6月23日(日)



※参加費

岡山県作業療法士連盟 会員:500円 非会員:2,000円

※県連盟の入会初年度は年会費(2,000円)が無料となります。入会を希望される方は
下記問い合わせ先にご連絡ください。入会確認後、研修会の参加費は会員扱いになります。

※懇親会

学集会終了後、倉敷駅周辺で懇親会を開催します。定員になり次第〆切ます
ので、参加希望者は早めにお申し込み下さい。山本会長も参加されます!!

主催：岡山県作業療法士連盟 後援：一般社団法人 岡山県作業療法士会

問い合わせ先

岡山県作業療法士連盟 企画部 担当：西悠太(倉敷平成病院)
E-mail: okaot.renmei.kikakubu@gmail.com

【企画の趣旨】

- ・県連盟の役割と活動についてお話していただきたい。
- ・参加者にとってより身近で必要性を感じてもらえるように、
日本作業療法士連盟、岡山県作業療法士連盟の成果について
お話していただきたい。

日頃なかなか聞くことができない、
非常にタイムリーで
有意義なお話が得られました。

講演会後の懇親会でも
ふれあい・語り合いのお時間を
頂くことができました。



☆ 『 岡山県作業療法士連盟 総会 』 開催報告
☆ 『 令和6年度 今後に向けたメッセージ 』



会員の皆様 ならびに 作業療法士の皆様へ

平素は連盟活動にご理解とご協力を賜わり、厚く御礼申し上げます。

さて、すでにご承知の通り岸田内閣総理大臣が、次期自民党総裁選に立候補しない意向を表明されました。

その理由を「自民党が変わることを示す最も分かりやすい最初の一步は私が身を引くことだ」としています。

これによって、新総裁が誕生した後、総理大臣を退任することになります。その背景には「政治とカネ」の問題やスキャンダルなどで支持率が低迷し続けていることが理由にあることは、言うまでもありません。

政治団体として政治にかかわる身として、時折出てくるこうした問題に触れるたびに「いい加減にしてくれ」とやるせない思いを募らせてしまいます。一方、政治とカネの問題には現在の選挙制度にも大きな問題があると感じています。選挙権を持つ私たちが政治を変えていかなければならないとも思います。首だけ挿げ替えて中身が変わらなければ意味がありません。私も自民党员として、総裁選候補者の政策をしっかりと吟味して貴重な一票を投じたいと思います。

しかしどんな状況であっても、私たちは政治活動をやめるわけにはいきません。

毎度申し上げることで恐縮ではございますが、初めての方もいらっしゃると思いますので、耳タコの方もお付き合いいただければと思います。

『なぜ政治活動が必要なのか？』

それは、作業療法は法律に則って提供されるものだからです。

私たちの職務に関係する法律をつくり、そこに配分される予算の決定は、全て選挙で選ばれた代表である政治家が審議をする議会の場で行われるからです。それが民主主義国家の在り方です。

したがって、職能団体としての政治のかかわり方は、その事実から目を背けず、また、政治の良し悪し好き嫌いという理由に左右されず、真正面から向き合って取り組んでいくべきものです。社会に貢献している作業療法士が正当に評価され社会的地位を高めるためにも、議会で発言する政治家に私たちのことを深く理解していただく必要があるのです。

来年には参議員選挙も控えています。ここには我々の組織代表を国政の場に送り出す必要があります。

現在そのために、日本作業療法士協会とも連携して政策協定書の作成にも着手しております。今後も連盟活動にご協力と力強いご支援を、何卒よろしく願いいたします。